

令和7年度 春日小学校

第2回学校運営協議会

◇日時 令和7年9月10日（水）

18:15～19:30

◇会場 図書室（2階）

＜次第＞ 進行 事務局長

1 開 会

（1）挨拶 会長

（2）挨拶 校長

2 議 事 （議長： 会長）

（1）Ⅰ学期末学校評価について（教頭）

「学びづくり」

CS・・・高学年になると自主学習に取り組まなくなってくる。よい所を伸ばすような工夫をしてほしい。塾ではレベルアップすると、次のステップに上がれるなど目標をもたせている。

CS・・・子どもはつまずくと理解が追い付かなくなるので、早い段階でヒントや支援をした方がよい。

学校・・・用語の説明

「うめライス」とは、聞き方の観点

「う」うなずく、「め」目を見る、「ら」ラストまで、「い」一生懸命に、「す」スマイルで

「やめからはい」とは、話し方の観点

「やめて」「体をかたむけて」「はいと返事」

学校・・・R6にデジタルのドリル教材を試してみたが、教員の中でも使用頻度に大きく差が出た。利点としては、個々の進度に応じた学習（個別最適な学習）や、学習の到達度を見取りやすいことが挙げられる。

学校課題として、文章を読む速度が遅く、読解力が低い。読書量が少ないことが一要因と考えられる。

CS・・・問題文を理解できない。親自身が本に関わって、本を子どもに紹介するなどの必要性を感じる。難しい問題は、そこで読みが止まってしまう。書くこと自体が減少している影響もあるのでは？

CS・・・対話は、とても大切だと思う。「相手の言葉を理解する」「比べる」「共通点を探す」「違いを見つける」など、かかわりをつくることが、振り返り、思考を深めることにつながる。

学校・・・本当の対話になっているのか。ペアトークという形だけで、深め合う対話になっているのか。できていないことも多い。対話の意味を考えて、授業を行う必要がある。自分の考えを文章に書くことはできるが、読んで発表する形だけの対話になりがちである。書いてもよいが、見ないで話すなど、自分の言葉で表現することに慣れさせていく。

CS・・・学びのスタンダードがあるなら、しっかりと共通認識を図ってほしい。先生自身が楽しくない授業はよくない。自分の課題をしっかりと受け止めてほしい。

学校・・・授業力向上に向けて、研修を重ねている。複数で授業を担当したり、教科によっては担任を入れ替えたりして、職員間に差ができないようにしている。

「心づくり」

CS・・・具体的な質問の方が課題が焦点化され、活動が取り組みやすくなる。子どもについては、全体のめあてを個人に落とす工夫も必要。目標は学年の発達段階に応じて、最初からハードルを高くしない方がよい。場合によっては、難しい物も必要。ハードルを越える、別の選択肢を考えさせる機会を設ける。

CS・・・登下校では、自分からあいさつしない子が多い。低学年はよいが、高学年は避けることがある。地域の一員として、あいさつをしてほしい。顔を見てあいさつしてほしい。高学年がお手本となるので、下学年の影響が少なくない。思春期で恥ずかしいのか、高学年より低学年の方が元気よく返してくれる。班の班長が手を挙げていると、みんな手を挙げる。さみしい。

学校・・・個々に差がある。笑顔の子もいる。1年生は良い。低学年は、教えると入る。

CS・・・発言の自由を増やす。縦割り班をうまく生かしたい。地域の活動も減っている。下校時は元気な印象がある。町内行事では親が無反応。

CS・・・言葉づかいは家庭の影響もある。

学校・・・今年度も WEBQU に取り組んでいる。校内研修を行っている。数値が上昇している。担任が意識している。褒め褒めシャワー。自己肯定感を伸ばす指導をしている。1年生で生活満足群が多いのは、珍しい。クラス解体により、ゼロからスタート。2回目は、見逃しが入るので数値が下がると考える。参考に、再度支援を考える。

「体力づくり」

CS・・・熱中症予防による制限は、減ることが無い。今後どのように活動していくのか？

学校・・・熱中症の観点では、水泳指導も心配である。多目的室は R8 に、冷房を入れる予定。

CS・・・体力の二極化が心配である。メディア依存は、精神的な影響が大きいと聞いている。日常的な動きを体育の中で教える。体力の転ぶと手が出ない子がいる。

CS・・・ニュースポーツとは？

学校・・・誰でも楽しめるスポーツ。生涯スポーツにつながる。モルック、アルティメット、インディアカなど。

CS・・・地域スポーツの紹介を推進していく。

CS・・・家庭が連れていけないこともある。以前は学校に来ればできた。格差が広がる可能性もある。

CS・・・ボールの空気が入っていない物がある。整備が必要。

学校・・・運動委員会が担当なので、チェックを確実に行う。

（２）２学期以降の支援要望について（教頭）

「支援本部」

- ・ R8 以降、田んぼの講師がいない。農家の子ども世代が仕事をしているため、後継者がいない。
- ・ 持久走記録会等、２学期以降も支援をお願いしたい。

（３）その他

- ・ 今後の教育活動について

R6 の反省をもとに、行事の内容や日程を見直していく。

- ・ 次年度の運営協議委員について

中学校区の中では、少ない人数のため R8 では、増やしていく。

3 連絡事項

(1) 今後の学校運営協議会の日程について（予定）

- ・春日中学校区三校合同学校運営協議会（未定 R6 は12月6日）

12月10日（水）案

- ・第3回…令和8年2月12日（木）18時15分～19時30分

(2) その他

- ・PTA と連名で学校と家庭の役割分担 メディア・放課後のトラブルについて家庭での責任で見ていただきたい。学校での対応は難しい。分担して子どもの育成に対応していく。

メタバース（ゼペット）を使用している子が多い。保護者が知らない世界で交流が行われている。

- ・金管バンドの存続について 始めた理由 当時の校長が心を一つにして取り組ませたい。→受け継ぎたい保護者が名乗り出た。「春日小」の名を残していきたい。どんな方法があるか、検討していく。（移行期間）

4 閉 会

挨拶 （事務局長）